

2014 年度春学期授業評価アンケート調査について 東洋大学国際地域学部国際観光学科

国際地域学部では、2014 年度春学期に授業評価アンケートを実施しました。

この授業評価アンケートの結果を教員の授業改善に向けた議論に役立てながら、わかりやすい授業をすることと、それぞれの分野に必要な知識をしっかりと身につけることとの両立をめざして改善に取り組んでいるところです。

2014 年度春学期におけるアンケート実施科目数は、国際地域学部全体で 185 科目、回答者延べ数 9,368 名ですが、その中で国際観光学科に関連するアンケート結果（回答者延べ数 4,128 名、アンケート対象者延べ数 5,847 名、有効回答率 71%）を下記に示します。

1. 回答者属性等について

表 1 から表 3 までに、回答者の個人属性を示します。アンケートは、国際観光学科の教員が担当している授業であるため、回答者の一部に経済学部、文学部、経営学部等の学生がいますが、ほとんどが国際地域学部学生であることがわかります。また、学年の構成比率では 1 年生がもっとも割合が高く、4 年生が少ないこと、回答者の出席状況では、「一度も欠席なし」、「1-2 回の欠席」が多いものの、5 回以上欠席した回答者が 43 名との結果となりました。授業に出席することが、授業履修の第 1 歩であるため、学生のしっかりとした授業参画を希望します。

また、表 4 に示すように受講人数の適切さでは、1,640 名（40%）が「多すぎる」もしくは「やや多い」と回答しました。2013 年度秋では 45%であったため、若干改善されていると判断できます。

表 1 回答者の所属学部

学部	文	経済	経営	法	社会	理工	国際	生命	ライフ	総合	食環	有効回答	無効回答
	88	119	68	38	63	0	3,745	0	0	0	0	4,121	7

表 2 回答者の学年

学年	1年	2年	3年	4年	その他	有効回答	無効回答
	1,592	1,112	1,174	235	4	4,117	11

表 3 回答者の出席状況

出席状況	一度も欠席なし	1~2回の欠席	3~4回の欠席	5回以上欠席	有効回答	無効回答
	1,931	1,694	378	43	4,046	82

表 4 受講人数の適切さについての回答分布

受講人数の適切さ	多すぎる	やや多い	適切	やや少ない	少なすぎる	有効回答	無効回答
	377	1,263	2,387	59	16	4,102	26

2. 授業についての評価

2.1 授業のわかりやすさについて

表5上段に、2014年春学期の授業のわかりやすさについての回答分布を示します。国際観光学科の評価が高い項目として、

「5. 先生の声は聞き取りやすかったですか。」

「4. スクリーンに投影される文字や図表は読みやすく作成されていましたか」

以上の2つがあげられる一方、最も評価が悪い項目として、下記が指摘されました。

「3. 黒板の板書は読みやすく書かれていましたか。」

この評価項目をはじめとして、すべての項目の評価が大学全体平均よりも評価が低いとともに、前年度秋学期、学部平均との比較いずれについても評価が低く、改善が必要と考えられる。

表5 授業のわかりやすさについての回答分布(上段：2014年度春学期，下段：2013年度秋学期)

問	設問	当学科 平均	当学部 平均	全体 平均	回答数/回答率(%)					有効 回答	無効 回答
					1	2	3	4	5		
A. 授業のわかりやすさについて											
1	先生の説明は、あなたにとってわかりやすかったですか。	3.12	3.19	3.15	わかりやすかった	わりにわかりやすかった	ややわかりにくかった	わかりにくかった		4,106	22
					1,421	34.6%	1,913	46.6%	627		
2	使用した教科書、参考書、配布資料などの教材は役に立ちましたか。	3.21	3.26	3.25	役に立った	わりに役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった	これらの教材は使わなかった	4,099	29
					1,448	35.3%	1,965	47.9%	452		
3	黒板の板書は読みやすく書かれていましたか。	3.02	3.10	3.08	見やすかった	わりに見やすかった	あまり見やすくなかった	見やすくなかった	板書はしなかった	4,111	17
					851	20.7%	1,264	30.7%	556		
4	スクリーンに投影される文字や図表(パワーポイント、実物投影機、OHP等を含む)は読みやすく作成されていましたか。	3.27	3.31	3.31	見やすかった	わりに見やすかった	あまり見やすくなかった	見やすくなかった	パワーポイント等は使わなかった	4,108	20
					1,198	29.2%	1,191	29.0%	296		
5	先生の声は聞き取りやすかったですか。	3.39	3.45	3.41	聞き取りやすかった	わりに聞き取りやすかった	あまり聞き取りやすくなかった	聞き取りやすくなかった		4,097	31
					2,100	51.3%	1,569	38.3%	352		
6	総合的に見て、この授業はわかりやすかったですか。	3.16	3.23	3.19	わかりやすかった	わりにわかりやすかった	ややわかりにくかった	わかりにくかった		4,094	34
					1,556	38.0%	1,798	43.9%	598		
A. 授業のわかりやすさについて											
1	先生の説明は、あなたにとってわかりやすかったですか。	3.26	3.22	3.19	わかりやすかった	わりにわかりやすかった	ややわかりにくかった	わかりにくかった		1,784	9
					746	41.8%	795	44.6%	207		
2	使用した教科書、参考書、配布資料などの教材は役に立ちましたか。	3.30	3.27	3.28	役に立った	わりに役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった	これらの教材は使わなかった	1,780	13
					698	39.2%	856	48.1%	145		
3	黒板の板書は読みやすく書かれていましたか。	3.01	3.09	3.10	見やすかった	わりに見やすかった	あまり見やすくなかった	見やすくなかった	板書はしなかった	1,789	4
					400	22.4%	604	33.8%	295		
4	スクリーンに投影される文字や図表(パワーポイント、実物投影機、OHP等を含む)は読みやすく作成されていましたか。	3.29	3.32	3.33	見やすかった	わりに見やすかった	あまり見やすくなかった	見やすくなかった	パワーポイント等は使わなかった	1,782	11
					645	36.2%	647	36.3%	154		
5	先生の声は聞き取りやすかったですか。	3.48	3.43	3.43	聞き取りやすかった	わりに聞き取りやすかった	あまり聞き取りやすくなかった	聞き取りやすくなかった		1,788	5
					1,038	58.1%	597	33.4%	127		
6	総合的に見て、この授業はわかりやすかったですか。	3.31	3.24	3.23	わかりやすかった	わりにわかりやすかった	ややわかりにくかった	わかりにくかった		1,784	9
					801	44.9%	759	42.5%	193		

2.2 授業運営について

表 6 上段から、評価が高いものは、「3. 授業の開始時間、終了時間は守られていたと思いますか。」である一方、相対的に「2. 先生は私語を注意するなど、受講生が講義に集中できる環境を作っていたと思いますか。」の評価が悪く、講義環境づくりに注力する必要があると考えられます。

また、2.1 節の「授業のわかりやすさ」と同様に、前年度秋学期、学部平均、大学全体との比較いずれについても評価が低く、改善が必要と考えられる。

表 6 授業運営について(上上段：2014 年度春学期，下段：2013 年度秋学期)

問	設問	当学科 平均	当学部 平均	全体 平均	回答数/回答率(%)					有効 回答	無効 回答
					1	2	3	4	5		
B. 授業運営について											
1	シラバス(講義要項)に則した内容の授業が行われていたと思いますか。	3.36	3.42	3.40	そう思う	わりにそう思う	あまりそう思わない	そう思わない		4,104	24
					1,788	43.6%	2,037	49.6%	241		
2	先生は私語を注意するなど、受講生が講義に集中できる環境を作っていたと思いますか。	3.27	3.35	3.30	そう思う	わりにそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	私語がなかったので注意の必要がない	4,107	21
					1,572	38.3%	1,808	44.0%	362		
3	授業の開始時間、終了時間は守られていたと思いますか。	3.48	3.52	3.50	そう思う	わりにそう思う	あまりそう思わない	そう思わない		4,095	33
					2,296	56.1%	1,506	36.8%	239		
4	総合的に見て、この授業の運営はどうでしたか。	3.30	3.37	3.35	よかった	わりによかった	あまりよくなかった	よくなかった		4,059	69
					1,710	42.1%	1,914	47.2%	359		

問	設問	当学科 平均	当学部 平均	全体 平均	回答数/回答率(%)					有効 回答	無効 回答
					1	2	3	4	5		
B. 授業運営について											
1	シラバス(講義要項)に則した内容の授業が行われていたと思いますか。	3.41	3.40	3.41	そう思う	わりにそう思う	あまりそう思わない	そう思わない		1,789	4
					839	46.9%	852	47.6%	85		
2	先生は私語を注意するなど、受講生が講義に集中できる環境を作っていたと思いますか。	3.41	3.32	3.31	そう思う	わりにそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	私語がなかったので注意の必要がない	1,784	9
					814	45.6%	667	37.4%	120		
3	授業の開始時間、終了時間は守られていたと思いますか。	3.49	3.51	3.48	そう思う	わりにそう思う	あまりそう思わない	そう思わない		1,789	4
					1,042	58.2%	605	33.8%	112		
4	総合的に見て、この授業の運営はどうでしたか。	3.40	3.35	3.37	よかった	わりによかった	あまりよくなかった	よくなかった		1,763	30
					850	48.2%	799	45.3%	91		

2.3 学習成果について

表 7 上段より、「2. 受講の結果、新しい知識を得ることができましたか。」、「3. 受講の結果、新しいものの見方や考え方を得ることができましたか。」の評価に比べて、選択肢 1「あなたは講義中に熱心に受講したと思いますか。」ならびに選択肢 4「この授業へのあなた自身の取り組み、この授業から得られたことなど総合的に見て、あなた自身の自己評価はどうですか。」の評価が相対的に低くなっています。言い換えると受動的には授業の学習成果をみとめるものの、能動的な評価として充分でないと考えられ、より自発的な授業への取り組みをどのようにきっかけとして提供していくかが問題と考えられます。

また、前節と同様に、前年度秋学期、学部平均、大学全体との比較いずれについても評価が低く、改善が必要と考えられる。

問	設問	当学科 平均	当学部 平均	全体 平均	回答数/回答率(%)										有効 回答	無効 回答
					1		2		3		4		5			
D. 授業の難易度と進度について																
					適切であった		わりと適切であった		あまり適切 ではなかった		適切ではなかった					
1	授業の難易度はあなたにとって適切でしたか。	3.26	3.23	3.18	684	38.4%	928	52.2%	150	8.4%	17	1.0%			1,779	14
2	授業の進み方のペースは、あなたにとって適切でしたか。	3.31	3.29	3.24	730	41.0%	892	50.1%	137	7.7%	20	1.1%			1,779	14
3	総合的に見て、授業の難易度と進度は適切でしたか。	3.32	3.27	3.22	730	41.1%	904	50.8%	128	7.2%	16	0.9%			1,778	15

3. 総評

まず、授業についての評価において、比較的低い評価であった項目は、

- ・「3. 黒板の板書は読みやすく書かれていましたか。」
- ・「2. 先生は私語を注意するなど、受講生が講義に集中できる環境を作っていたと思いますか。」

以上の2項目でした。

また、授業の特に学習成果についてみると、受動的評価項目では学習成果をみとめるものの、能動的な評価が充分高くなく、より自発的な授業への取り組みを実現させ、それを通じた満足度の上昇が必要不可欠であると考えられます。

さらに、今回の調査における最も大きな問題点として、前年度秋学期、学部平均、大学全体との比較いずれについても評価が低い、若しくは同程度となっていることがあげられます。前年度秋学期では、学部平均、大学全体よりも概ね高評価であったことと比較すると、いずれの評価項目とも学部、大学の平均値を下回る項目が多くなっています。これまでのアンケート結果においても、後期よりも前期の評価は低くなっていることから、その原因を的確に把握するとともに、2時点で共通する被験者に限定した評点の比較、各科目の評点分布の確認などを行う必要性が高いと考えられます。

また、その他の項目において評価が低かった項目をその対応策とあわせて下記に列挙します。

- ・5回以上欠席した回答者が43名いたこと

(対策：学生のしっかりとした授業参画への誘導を適切に行うこと)，

- ・受講人数の適切さにおいて、40%の学生が、多すぎる、やや多いと回答していること

(対策：適切なクラスサイズについて、教室数との兼ね合いを検討しながら、時間割の検討などを行うこと)。

以上